

ご使用方法

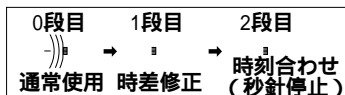
お買い上げの時計は時差修正を行える機能を備えています。時計の分針、秒針を止めずに簡単な操作で時針だけを1時間単位で修正することができます。海外旅行の際などにたいへん便利です。

1. 日付表示のない時計の場合
日付表示つき時計の場合は7ページをご覧ください。

各部の名称



この時計はリューズを2段階に引き出せます。



時計単独時差修正のしかた、時刻の合わせ方

①



リューズを1段引き出します。(秒針は動いています)

ネジロックタイプのモデルはリューズを左に回してネジをゆるめ、リューズを1段引き出します。

②



時差修正

時差修正はリューズを右回しにすると時針が正転、左回しにすると逆転し、1時間単位で修正(時針)できます。

③



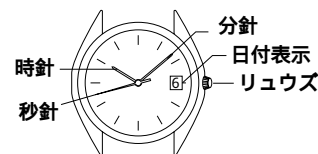
次に、秒針が12時の位置にきたらリューズを2段目まで引き出します。(秒針は止まります。)

時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

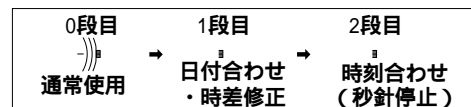
2. 日付表示つき時計の場合

日付表示のない時計の場合は4ページをご覧ください。

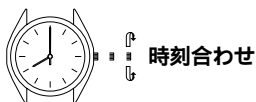
各部の名称



この時計はリューズを2段階に引き出せます。



④



時刻合わせ

リューズをまわして時刻を合わせてください。
クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4~5分進めてから逆にもどすように合わせてください。

⑤



時報と同時にリューズを0段目まで押し込んで完了です。
ネジロックタイプのモデルは修正がすみしたらリューズを押しつけながら右に止まるまでネジ込んでください。

カレンダー連動時差修正のしかた、日付/時刻の合わせ方

①

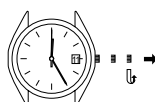


②



時差修正・
日付合わせ

③



リューズを1段引き出します。(秒針は動いています)ネジロックタイプのモデルはリューズを左に回してネジをゆるめ、リューズを1段引き出します。

時差修正はリューズを右回しにすると時針が正転、左回しにすると逆転し、1時間単位で修正(時針)できます。日付合わせは正・逆転のどちらかで、合わせたい日の前日の日付にセットしてください。

日付の修正は時針を24時間分まわすと1日変わります。

次に、秒針が12時の位置にきたらリューズを2段目まで引き出します。(秒針は止まります。)今日の日付になるまでリューズをまわして針を進めてください。

④



時刻
合わせ

日付は24時間で1日変わるように設計されていますので、午前/午後を間違えないようにリューズをまわして時刻を合わせてください。
クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4~5分進めてから逆にもどすように合わせてください。

⑤



時報と同時にリューズを0段目まで押し込んで完了です。
ネジロックタイプのモデルは修正がすみしたらリューズを押しつけながら右に止まるまでネジ込んでください。

⑥



この時計の日付表示は1日~31日までとなっています。小の月(2.4.6.9.11月)の場合、翌月の月初に1、2の要領で日付表示の調整をしてください。
この場合の日付表示の調整はリューズを右に回して時針を正転させて行ってください。

時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。